

ほ ほ え み

02 01 13

新しい年を迎えました。いかがお過ごしでしょうか。
年頭は今年こそ家族が揃って健康に過ごせますように
と願わずにはられません。

その昔、神に祈願をしてその願いが叶えられたときには
神馬とするよう馬を献納しました。しかし貧しい民
は馬を納めることができません。そこで代わりに馬の
絵を描いたり木片を献じたりしました。それが絵馬の
始まりです。

午年の今年、年末には家族揃って絵馬を献納したい。
ご家族皆さまが一年健康に無事過ごせますようにお祈
りいたします。

<第79回 ほほえみの会>

寺島先生をはじめ9人が参加しました。

- ▽ 1月4日に2歳の長男が白血病と診断されすぐに入院。
病気ひとつしない子だったのでショック、いまだに信じられない。
病名に気が沈む。人に聞かれても返事に困る。
会社にもどう話をしたらいいか悩む。自分でないといけない仕事であり
出張も多い。下手に話をしてリストラされないか心配。
出席した方は最初から会社に話をして理解をもらったとのこと。
移植の時には1ヶ月間休みをもらったと言いますがこれは社によっ
ても違うことでしょう。
また、病状を先生に直接聞けない。母親から聞くことになる。
こども病院では父親も時間があるときに先生に聞けばいつでも納得
がいくまで説明をしてくれる。これが他の病院と違って非常にあり
がたいという話も出ました。
他の病院では検査結果を教えてほしいというと「教えてあなた分かる
の?」と言われてしまう。病状を聞くにも予約が必要。聞くのは
先生に失礼と思っていた。
こども病院に来てからは分からない所は聞くのが当たり前。患者も
理解をしないといけない。説明と同意は必ずある。

- ▽ 女の子で治療後生理が来るか心配という話も出ました。
年齢が来たらホルモン検査をしたらいい。下垂体から様々なホルモンが出るがどれだけ出ているか血液検査で分かる。
下垂体から最初に出なくなるのが成長ホルモン。身長が伸びているということは成長ホルモンが出ている証拠。身長が伸びないと他のホルモンも出ていない可能性がある。
卵巣に問題はないか、女性ホルモンはどうか、中学入学前くらいに検査をしたらいい。
女性ホルモンには薬はあるが男の子で精子が作れない場合は救えない。
- ▽ 今年の秋長泉町にオープンする県がんセンターに天野先生が行かれるということです。東部地区の方はこれから検査などはそちらでできることになりそうです。
県は当初小児科をつくらない予定でしたが我々の働きかけで子供も診て貰えるようになりました。まずはこども病院にかかっている東部地区の人が患者となることでしょう。
病院の運営はまだ白紙だと思います。患者にとって利用しやすいように我々も考え意見を言っていきましょう。
- ▽ 先月お知らせしました患者本人の会の名称「ピア」のスペルはP E E R でした。お詫びして訂正します。

次回は 2月10日(日) 11時からです |

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mail k1ikeda@nifty.com

ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/~hohoemi/>